

## 1 住民説明会

### (1) 開催概要

第二次佐久市総合計画素案（概要）について、次のとおり住民説明会を実施しました。

月日	会場	参加者
10月14日（金）	浅科支所	14人
10月17日（月）	あいとぴあ臼田	14人
10月18日（火）	野沢会館	18人
10月19日（水）	市民創錬センター	32人
10月20日（木）	望月支所	19人

### (2) 意見

住民説明会での主な意見の概要は、次のとおりです。

#### ア 人口減少に関すること

- ・長野県には大学が少ないので、佐久市に企業が来て、200～300人を雇用しようとしても、若い優秀な労働力がないのではないかと。（あいとぴあ臼田会場）
- ・佐久平地区は人口が上昇しているが、臼田地区などはそうではない。地区別や年代別の人口増減を調べて、地区ごとにどのような施策が必要か考えるべきではないか。臼田地区を始め高齢者の多いところに、若い人を増やすにはどうしたら良いかについても検討していくべきではないか。（野沢会館会場）
- ・人口減少が一番の課題だと思うが、佐久市がどこに力を入れていこうとしているのか分からない。若者が高校卒業後、都会に出てから結婚相手とともに戻ってきて、佐久市で出産されると人口増加につながるが、戻ってこないというのが大きな課題だと思う。（市民創錬センター会場）
- ・転入者を増やす場合に、若い世代が転入してくるのは良いが、60代、70代で転入してきても、福祉・介護の面で費用負担が増えるのではないかと。（市民創錬センター会場）

#### イ 将来都市像に関すること。

- ・快適健康都市という将来都市像の主題はこれで行くべきだと思うので賛成だが、副題にある「選ばれるまち」というのは分かりにくいので、「住みたくなるまち」の方が良いのではないかと。（野沢会館会場）

## ウ 各政策分野に関すること

### (ア) 教育・文化分野

- ・教育レベルを上げるために、学力テストの結果を公表すべきだと思う。企業によっては英語ができないと採用されないこともあると聞くので、教育面での対応をしっかりとやっていく必要がある。地域の発展や人口増を目指しても、人材がいないと始まらない。（あいとぴあ臼田会場）

### (イ) 経済・産業分野

- ・企業誘致には難しさもあると思うが、先進地や成功例を参考にして、優遇措置も含めて検討してほしい。進学のために都会に出てから、佐久市に戻ってきて働く場があるようにするため、企業誘致は大事な施策なので、そこを強調した総合計画であって欲しい。（市民創錬センター会場）

### (ウ) 保健・福祉分野

- ・健康長寿に関連して、年金が下がる反面、国民健康保険が上がっている。他の自治体を見ると、国民健康保険を下げているところもあるので、そのような施策をお願いしたい。（野沢会館会場）
- ・児童館は、他の市町村に比べても良い取組子育てをする若い世代を受け入れていく中で、このような取組をPRすると良いのではないかと。（野沢会館会場）

### (エ) 防災・安全分野

- ・市役所庁舎の耐震化工事が行われたが、熊本地震のように庁舎が被災すると地域の支援を行うことや、市民の暮らしを守ることができなくなる。（あいとぴあ臼田会場）

## エ 総合計画全体に関すること

- ・一般的な表現が多く、実際に何をやるのか、どこに力を入れるのか分かりにくい。（野沢会館会場、市民創錬センター会場、望月支所会場）
- ・個別計画との関係が分かるような相関図があると良い。（望月支所会場）

## オ 説明会に関すること

- ・説明が大まかなものになるのは仕方がないかもしれないが、施策の窓口を紹介するような取組の工夫をお願いしたい。（望月支所会場）
- ・市役所以外の参加者が少ない。市民は市役所の方に意見を聴いてほしいと思っているので、その努力を一番にして欲しい。（市民創錬センター会場）

## 2 パブリックコメント

第二次佐久市総合計画素案について、パブリックコメント（10月12日～31日）で頂いた意見の概要と回答（市の考え方）の案は、次のとおりです。

（11月中を目途にホームページで公表する予定）

	項目	意見の概要	関連する前期基本計画（主な取組）の記載	回答（市の考え方）の案
1	学校教育 文化芸術	<p>○後期基本計画の主な取組に記載のある「音楽、舞台芸術を直接鑑賞する機会を設ける」ことに賛同する。</p> <p>第二次計画においても、子供も大人も一緒に本格的な芸術を直接鑑賞できる機会を設けて欲しい。</p> <p>○佐久に文化・芸術を呼ぶために、アーティストもそこで演奏したいと思えるような魅力的な施設が市内にも必要</p>	<p>○「豊かな感性を育て心身の健全な発達を図るため、音楽や美術などの情操教育や体育教育の充実に努めます。」</p> <p style="text-align: right;">【学校教育・p6】</p> <p>「文化振興基金の運用益を活用し、演劇や音楽、舞踊など優れた舞台芸術に触れる機会を提供し、施設の利用を促進します。」</p> <p style="text-align: right;">【文化・芸術・p12】</p> <p>○「既存施設の特徴を考慮し、連携と役割分担による効率的な運用と、適切な維持管理を図ります。」</p> <p style="text-align: right;">【文化・芸術・p12】</p>	<p>○心の豊かさを育む芸術文化などを享受することのできるまちづくりを目指すことは、大切なことと考えている。</p> <p>引き続き音楽や舞台芸術を鑑賞することができる機会を提供していきたいと考えている。</p> <p>○文化施設については、既存施設の特徴を踏まえ、その活用を進めていきたいと考えている。</p>
2	市民協働 地域福祉	<p>○地域に暮らす全員が、地域を支える担い手やサポーターになって、関わり合いを持てるような意識と取組を創ることが大事</p> <p>○地域での関係性が希薄となる中で、地域での助け合い、支え合いについて、区長や民生委員などの一部の役員に任せておくだけでは解決できないことから、次のような「地域サポート会議」の設置を提案する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政区ごとに、区の誰もが地域の問題、要望などについて自由に意見交換できる場とし、年1～2回程度開催する。</li> <li>・会議の呼びかけは市が提起し、区の役員に運営・推進などを依頼する。</li> </ul> <p>市や社協などの関係者も必要に応じて参加できるものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議では、地域の課題や問題などを幅広く考え、福祉ネットワークや担い手の育成にもつながるようにする。</li> </ul> <p>○区長、民生委員などの役員と連携する「福祉協力員」、「民生委員補助員」などを配置することで福祉の担い手を増やすことができ、地域サポート会議にこれらの者が参画することで、高齢者の安否確認なども継続的に進められる。</p>	<p>○「基礎組織である区や、地域活動を行うボランティア団体・NPOなどの様々な団体と連携して、地域課題を解決するための取組を支援します。」</p> <p style="text-align: right;">【地域コミュニティ・p92】</p> <p>○「広報佐久、市ホームページ、SNSなどを通じて、市民、市民活動団体、行政が情報を共有することで、市民と市がパートナーとして、連携・協力する市民協働のまちづくり、市民参加のまちづくりを推進します。」</p> <p style="text-align: right;">【市民協働・参加・p91】</p> <p>○「第三次佐久市地域福祉計画を策定し、市民の社会福祉意識の高揚と、地域コミュニティの育成を図るとともに、地域住民と関係機関との協働により、総合的な地域福祉ネットワークの充実に努めます。」</p> <p style="text-align: right;">【地域福祉・p56】</p>	<p>○基礎組織である区や、地域活動を行うボランティア団体・NPOなどの様々な団体と連携して、地域課題を解決するための取組を支援していくことは大切なことと考えている。</p> <p>○ご提案のあった「地域サポート会議」の設置、「福祉協力員」、「民生委員補助員」などの配置については、協働のまちづくりの取組を進めていくに当たって、参考とさせていただきたいと考えている。</p>